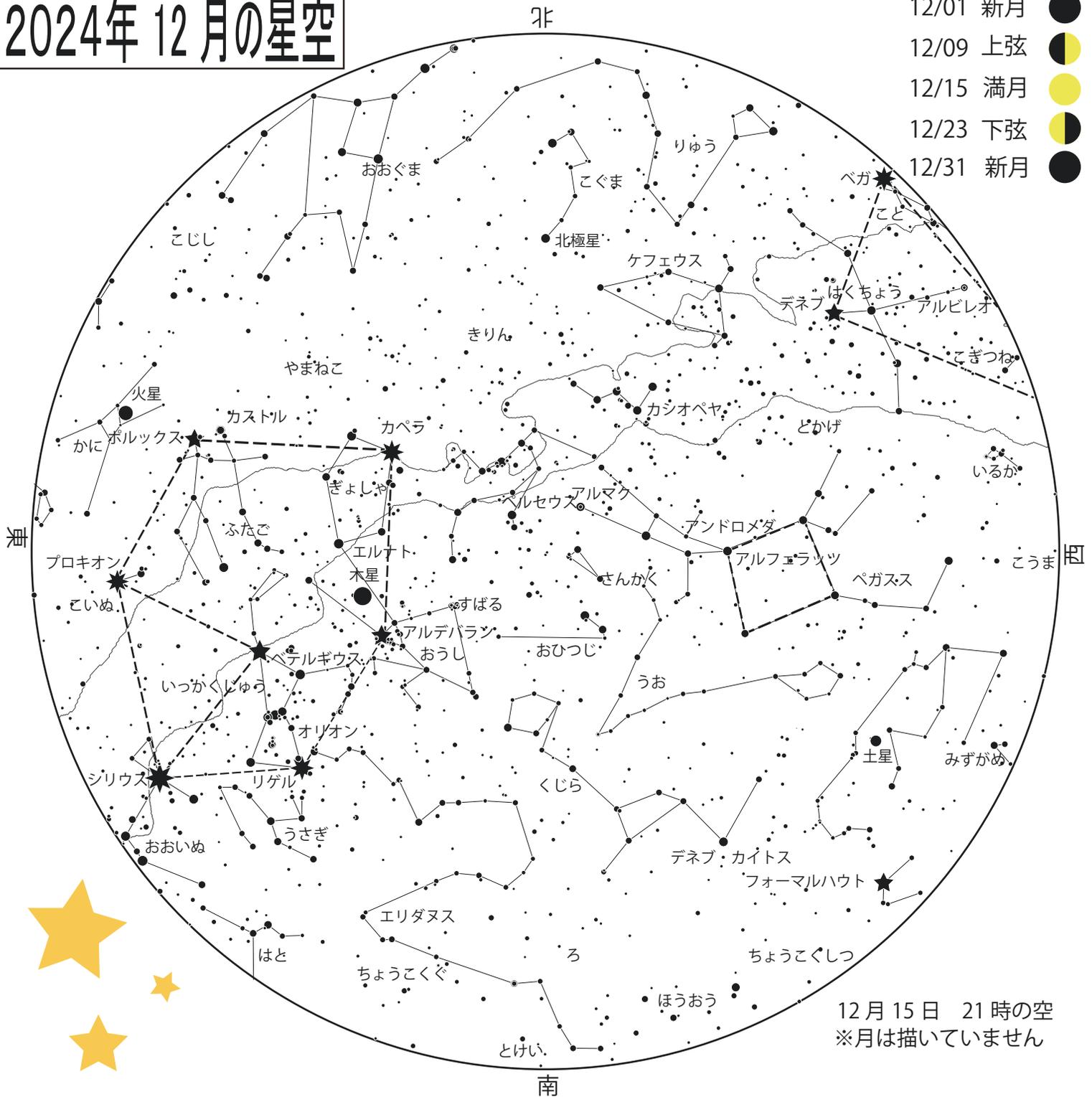


姫路で見る 2024年12月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

- 12/01 新月 ●
- 12/09 上弦 ◐
- 12/15 満月 ●
- 12/23 下弦 ◑
- 12/31 新月 ●



12月15日 21時の空
※月は描いていません

12月になると強い寒気が流れ込み、真冬のような寒さの日が増えてきました。北風も強く体感としてはより寒く感じられるため、夜空を眺めるには厳しい季節かもしれません。しかし、冬は水蒸気やチリが少ないため、星がくっきりと輝きます。暖かい格好で星空をお楽しみください。

日の入り後の南西の空には、真っ先に宵の明星・金星が輝き始め、続いて南の空の土星や東の空の木星が見えてきます。夜が更けると、赤い色で目を引く火星も姿を現します。火星は12月8日を境に、星座の中を東から西に「逆行」するようになり、来年の1月12日には地球に最接近してマイナス1.4等ととても明るくなります。

夜空はうお座、アンドロメダ座など、目立たない秋の星座が中心です。夜が更けると、東の空は明るい星の多い冬の星座でいっぱいになります。おうし座のアルデバラン、オリオン座のベテルギウスとリゲル、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオン、ふたご座のポルックス、ぎょしゃ座のカペラなど、冬の一等星たちが作る「冬のダイヤモンド」や「冬の大三角」も、全体が見えてきます。そこに木星や火星の惑星が加わって、東の空はとても賑やかです。